



千田篤氏



マリ・クリスティーン氏

千田 篤氏
公認会計士

「自分を飾らない」

富山市で公認会計士事務所を開いている千田篤氏と、国連人間居住計画（ハビタット）親善大使を務めるマリ・クリスティーン氏は、県内で開かれていた万葉集にちなんだ食事会を通じて、七、八年前から親交がある。

マリ氏は千田氏のこと

を「彼はいつも笑顔を絶やさない。とても純粋で温かい人」と表現する。

食事会でも、その日のテーマに選ばれた万葉集の歌の英訳をマリ氏のため

に準備しておいてくれる優しさがある」とし「頭が非常に柔軟で、外資系の会計士事務所に勤務されていたこともあってか、会話はウィットに富んでいる」と続けた。

一方、千田氏は「マリさんは自分を飾らない千田篤（せんだ・あつし）氏 早稲田大政治経済学部卒。昭和56年富山市で公認会計士事務所開設。本紙で「いのち悠久―稲塚権次郎の物語」連載（平成5年1月―5月）。55歳。

人。分らないことがあっても恥ずかしがらず、率直に疑問を投げかけてくる。思いやりがあり、常に周囲への気配りも忘れない」と言う。

加えて「好奇心も旺盛。海外にもよく出掛けておられる」とし「自分の目の自分の足で集められた一つ一つの生の情報は、マスコミなどを通じて得られる情報とはひと味違って、大いに参考になる」と話した。

マリ・クリスティーン氏は上智大国際学部卒。平成6年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程を修了し、現在も都市工学を学んでいる。12年国連ハビタット親善大使に任命される。